

WHO ファクトシート

女性性器切除 (FGM)

Female genital mutilation

2018 年 1 月

重要な事実

- ・女性性器切除 (FGM) には、非医学的理由のために女性の生殖器官を意図的に変形したり傷つける処置が含まれている。
- ・この処置には、少女や女性にとって健康上の何らの利点もない。
- ・処置は、重度の出血や排尿障害、後には囊肿、感染症、不妊を引き起こすとともに、出産時合併症や新生児死亡リスクの増加を起すことがある。
- ・今日生存している少女や女性の 2 億人以上が、FGM が集中的に行われているアフリカや中東の 30 カ国で切除を経験している。(1)
- ・FGM は、主に幼い少女に対して、乳幼児から 15 歳までの間に行われている。
- ・FGM は、少女や女性に対する人権の侵害である。

(1) [Female Genital Mutilation/Cutting: A Global Concern](#) UNICEF, New York, 2016.

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Female genital mutilation ファクトシート原文は [こちら](#)